

市民ネットワーク千葉県

2018年1月

93号

あけまして おめでとうございます

2018年は『戊戌』（つちのえいぬ）年です。干支の由来や意味をひもとくと、新しい動きが生まれ、大きな変化が起きる年と言われています。

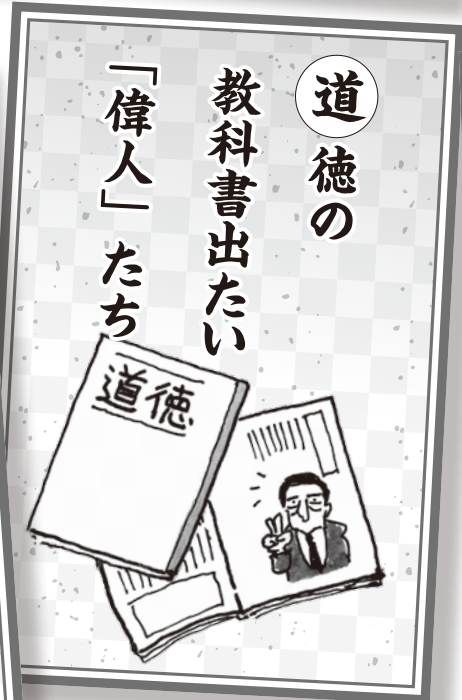
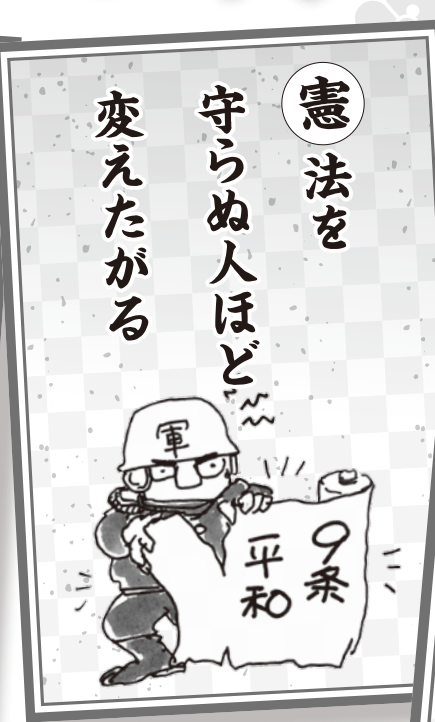
昨年の衆院選では改憲勢力が2/3を超え、国会での改憲発議・

国民投票も目前に迫っています。命より経済優先で原発再稼働、軍事国家へと突き進む安倍政権と対峙し、草の根の市民の力でこの流れを押し返していかなければなりません。

今年5月は野田市議選、そして来春には統一地方選挙があります。私たちはこの30年余り、市民の声を政治の場に届け、「すべての人の命と尊厳を守り、地域から平和を創り出したい」と地道に活動を続けてきました。今年もさらに一人ひとりの力を合わせ、地域から政治を大きく変えていきましょう。

2018

去年と今年をカタルカルタ



地域で広がる子ども食堂

市民ネットワークいなげ 鬼塚尚子

全国に広がっている子ども食堂。困窮者支援や孤食の予防という伝え方だけではなく、食を通じた地域交流の活動になっています。「子どもが一人でも来られる場所」であることが特徴ですが、地域の学生や大人も参加できます。

居場所としての役割

県内各地 いろいろな形で

子ども食堂が開かれている場所は、団地の集会所や大学、教会、空き店舗、カフェ、公民館の調理室、個人宅など、多岐にわたっています。子どもは無料のところが多く、大人はおおむね300円～500円。開催は週1回から月1回、時間も平日の夕方、土曜日のお昼、あるいは朝とさまざまです。また、希望者への

公立図書館の役割を考える

市民ネットワーク花見川 宮田敬子

千葉市で暮らして36年、子どもたちの読書環境の充実と地域の交流を進める視点で文庫活動、図書館運動に関わってきました。他県の先進的な図書館では子どもの貧困や認知症予防の取り組みも始まっています。図書館の可能性はまだまだ拡がるという気がしています。

図書館が大好きな 市民たちが…

千葉市の図書館施策へ提言を行う

ている」としょかんふれんず千葉市」

は、「千葉市の図書館を考える会」として発足しました。市民が図書館を知り、親しみ、学ぶ活動を通して図書館の充実を図ってきました。また市民が運営する「千葉市文庫連絡協議会」は、行政が主催する図書館協議会に委員を出しています。どちらの会も図書館を拠点とした「まちづくり」をしてきたと思います。

図書館運動を担ってきた市民グループが図書館と一緒に学習会などを開き、まちの将来像を皆が共有し、

住民主体の地域交通

「コミュニティバス、デマンドタクシー」

いちばら市民ネットワーク 桑田尚子

県内で最も面積（368万㎡）が広い市原市は、交通空白地域対策として10年前からコミュニティバスの運行が始まり、4年前からは乗り合いデマンドタクシーの運行も始まり

ました。

市民の知恵と工夫

地域の交通は、住民が主体的に関



音読による認知症予防だけでなく、市場調査レポートや企業情報の提供など、図書館の可能性は大きい

行政の仕組みは 変えられる

県内でも民間委託をする図書館が増えていきます。千葉市でも、昨年開館した「みずはハスの花図書館」は市内で初めて窓口業務を民間委託した結果、大切なレファレンス機能は電話対応のみになってしまいました。これでは図書館がまちづくりの拠点になることはできません。

かつて千葉市文庫連絡協議会は、より良い文庫活動のための「団体貸出」制度を要望して実現しました。私たち市民が行政にどう関わっていくかが問われています。

市原市の南部を走る「コミュニティバス」「コスモス南総」



手となっています。

一方、市内3カ所で実施している乗り合いデマンドタクシーは、二人以上が乗ると採算が取れますが、一人だと厳しく利用者増が課題となっています。

いずれも運営協議会の方々はボランティアです。その真摯な姿があるからこそ地域の方々に信頼され、協力体制が整っているのだと思います。

新しいまちづくり

はありません。「働く・学ぶ・遊ぶ」人々の活動には、
な人々の暮らしを支えるしくみづくり＝まちづくり
まちづくりに参加する活動や課題を取り上げました。



子どもの日の着衣は鯉のぼりの折り紙
～船橋市内の子ども食堂～

どうする？ 空き家・空き地

市民ネットワークみはま／千葉市議 松井かよ子

市民と共に創る

高速道路や大型公共施設を造ることだけがまちづくりで病気や失業などのトラブルも。子どもや高齢者を含む様々な人と市民ネットは考え活動してきました。今回は、市民が

増える所有者不明の土地

土地や家屋の相続登記では、法務局で所有者移転の手続きが行われ、その後、地方自治体で固定資産税(地方税)の納税義務者が変更されます。相続登記は財産を守るための権利ですが、義務ではなく、費用をかけて行うものです。不動産が資産であれば、権利を守るための登記が意味を持ちます。しかし今は人口減少で空き家が増え、税の負担や管理コストが重くのしかかる土地や家屋は負の資産となり、放置されるようになっていきます。

問題点は何か?

所有者不明の土地が増えることで、東日本大震災の被災地では災害復旧の取り組みが進まず、住民にとって、安全・安心な暮らしが脅かされる課題も明らかになりました。空き家対策においても、所有者が見つからなければ、管理や利活用ができず、まちづくりの妨げになる恐れがあります。

お荷物になる土地

固定資産税の代わりに「物納した」との申し出があっても、国税である相続税と違い、地方税法には物

する結果を生みました。

今回の総選挙は「改憲」が公約に載った初の選挙でした。選挙直後の11月には、今年の通常国会での改憲案発議のスケジュールが早速自民党から出されました。

「憲法9条」に「自衛隊」の存在を明記するという改憲案の裏には、自衛隊の決定的な変容があります。「軍隊」となった自衛隊を明記するという、自民党による9条の強引な変更を認める国民は決して多くはないはずです。

第48回衆議院選挙を終えて

政策調査室長 吉沢弘志

今回の自民党の小選挙区の得票率は48% (図1) でした。投票しな

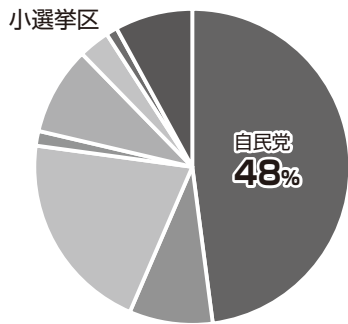
かった人も含む全有権者での得票率(図2)は、小選挙区で25%、比例区ではわずか17%しかありません。これだけの付託しか受けていない政党が議席の74%を占有し、立憲政治を

ここまで劣化させているのです。

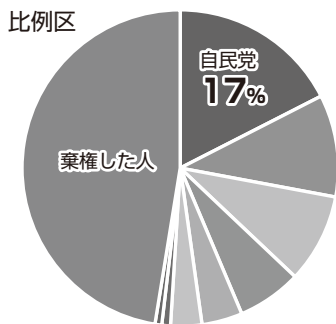
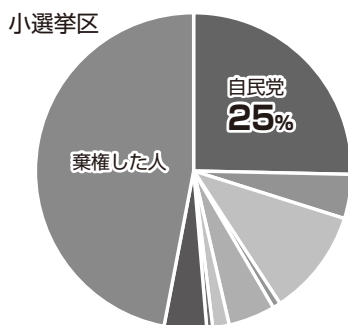
野党の結束次第では別の展開も十分あり得た選挙で、各地の「市民連合」も少なくとも《自公で3分の2》を崩すことを目指し、努力を積み重ねていました。しかし、公示直前の野党の混乱と低投票率が自民党を利

自民党の圧勝と言われますが...

投票者総数に対する自民党の得票率 (図1)



有権者総数に対する自民党の得票率 (図2)



11/5 講演会 「日本の安全保障政策はどうなるのか」

主催: 県議会会派 市民ネット・社民・無所属 講師: 横瀬 厚さん

「従来のあり方の政党というものがもはや機能しなくなるのではないか」と総選挙の感想を述べられました。

また、「自衛隊」が「他衛隊」になりつつあることが指摘されました。法制度も装備(武器)も「外征」型になりつつある、つまり米軍とともに世界中どこでも戦力として展開する「軍隊」としての自衛隊になろうとしているそうです。しかも、自衛隊上級幹部の意識は完全に「尊米」とのことです。



一昨年の参院選では、野党と県民の統一候補として山口選挙区で戦った横瀬さん

解決策は?

不動産の価値が上がり続ける前提でつくられた登記制度は、見直しの時期にきています。土地の所有者だけに利用や管理の責任を持たせるのではなく、活用したい市民や団体も関与できるように、「所有」と「利活用」を分けて施策が推進できるような法整備を国が行う必要があります。地方自治体でも、土地・家屋の相続や利活用、納税、エンディングなどの総合的な相談窓口を設置することによって、空き家や空き地を未然に防ぐ対策が必要です。

断っていることです。

まさらづ...市民ネットワーク

■なんといっても、タイムリーな情報発信がウリ

- ・年4回議会速報を議会終了日の翌日発行
- ・年4回まさらづ市民ネットワーク通信発行

■議会ウォッチングの他にも、〇〇ウォッチング

- ・街路樹の剪定、ゴミ袋の価格など調査
- ・デイサービスのバスツアーやお食事体験会も開催

■大人の学校、毎月第二木曜日開催

日本史の高校元教諭が講師。明治憲法や日露戦争など、当時の郷土史も紹介し、教科書より深掘りで好評

地域ネットから



のだネット 学習会開催...予防接種はだれのため?

小児科医 本間真二郎先生に聞く

お子さんが生まれ2か月も経つと予防接種のお知らせがきます。ワクチンはデメリットしかなく、メリットはほとんどない...にもかかわらず、ほとんどの人(99%)が正しい知識もないまま盲目的(半強制的)に受けている!...なぜ?

なるべく多くの若いお母さん達に参加して欲しいとの思いで生活クラブの若いメンバーのいるコミュニティとコラボして共催で行う事になりました。54名の参加があり不安や関心の高さが分かりました。

利権が関与している裏事情があること、副作用の怖さ、問題点など正しい知識を持ち子どもに予防接種を受けさせないという選択肢もあることを学びました。



自然派医療を実践する本間真二郎先生は病気になる暮らし方を提案しています。

市民ネットワーク千葉県

第25回定期総会＆新年交流会のお知らせ

総会

日時 1月27日(土) 13:30～

会場 千葉市文化センター5階セミナー室

各地域ネット選出の代議員が出席して行いますが、会員は傍聴が可能です。

交流会

日時 1月27日(土) 17:30～19:00

会場 ハロー貸会議室 千葉駅前

交流会は参加費1000円で、どなたでもご参加いただけます。準備の都合上、事前のお申し込みをお願いいたします。

市民ネットワーク千葉県 元気ファンド

2017年助成団体決定

毎日の暮らしに必要なサービスを創り出す市民事業や活動は、地域社会のセーフティネットとして不可欠です。市民ネットワーク千葉県元気ファンドは、地域で活動しているNPOや市民団体を応援するための仕組みです。助成金には所属議員の議員報酬の一部を活用しています。2004～2016年の助成実績は、63件総額2314万円にのびります。

2017年は9団体の応募がありました。市民社会への貢献度、事業の先駆性や発展性など6項目で審査を行い、次の3団体の助成が決定しました。

●NPO法人せっけんの街（柏市）

手賀沼せっけん工場内地域交流スペース活用と
工場見学推進事業 30万円

●流山サイエンスエデュケーションラボ（流山市）

科学に関する子どもを対象にした連続講座開催 30万円

●子どもの発達を支援する むぎ畑（千葉市）

発達に偏りのある子ども対象の運動療育親子教室と
家庭内療育講座開催 25万円



11月13日の公開プレゼンテーションには、昨年助成した5つの団体も参加し、助成事業の実施状況が報告されました。助成金が活用されている様子を聞き、元気ファンドの意義をあらためて実感しました。

政治を
変えるのは
net
ネットです

●野田市 ●柏市 ●船橋市
●佐倉市 ●四街道市
●千葉市 中央区・美浜区・稲毛区
花見川区・若葉区・緑区
●市原市 ●木更津市

市民ネット3つのルール

1.議員はローテーション

市民ネットワークの議員は原則2期で交替し、職業化、特権化しません。議員終了後は、市民活動などに経験を生かします。

2.議員報酬は市民の活動費

議員報酬は市民の調査活動資金として使います。お金の流れはすべて公開します。

3.選挙はすべて手づくりで

市民のための政治は、市民参加の選挙から。選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

県内8市に14の市民ネットがあります
県議2人、市議14人が活躍中

各ネット
総会のお知らせ

詳細は各ネットに
お問い合わせください

いちはら市民ネットワーク	2月3日(土)	0436-21-1907
さくら・市民ネットワーク	2月4日(日)	043-462-0618
きさらづ市民ネットワーク	2月6日(火)	0438-36-0677
よつかいどう市民ネットワーク	2月9日(金)	043-304-3823
市民ネットワークちば	2月10日(土)	043-201-2551
市民ネットワーク・かしわ	2月11日(日)	04-7166-6648
市民ネットワーク・ふなばし	2月11日(日)	047-426-8321
市民ネットワーク・のだ	2月18日(日)	04-7123-6981



山本 友子
(市原市選出)



入江 晶子
(佐倉市選出)

今年も気持ちを新たに命と暮らし最優先をモットーに当事者の声を県政に届けていきます。

びっくり
県政だより夜間定時制高校
給食がすべて廃止になる!?

千葉県議会議員 山本友子

今度は全校で給食廃止?

夜間定時制高校では、これまで1食320円で栄養バランスのいい給食を摂ることができたのに、すでに5校で試行的に廃止になっています。何と今度は11月に一気に残り12校の全ての夜間定時制高校の給食も廃止する方針の報告が「定時制高校給食検討チーム」から出されました。

お腹がすいて部活も出来ない

夜間定時制高校ではアルバイトを含めて日中働き、夕方から夜9時近くまで学んでいる生徒がほとんどです。給食は貴重な食事の時間であり、「コミュニケーションの場」です。給食を廃止した学校では、申し訳程度にコンビニ弁当等で代わっていますが、とてもこれまでのような量と質を満たした食事とは言えません。弁当を購入する生徒はまばらで食堂も閑散としています。授業が終わった後の部活もお腹がすいて参加者が激減しています。

議会軽視 請願審査も無視

県議会にも廃止となった給食の復活を求めて請願が出され、慎重に継続審査されてきました。その結果、教育委員会では経済的に困窮している生徒に1食200円を補助する制度を始めましたが、実際は該当する生徒も言い出しにくく利用率は約8%です。様々な事情を抱えた生徒の実態の検証も行わず、「報告」は一方的に、喫食率（給食を食べる生徒の割合）が平均49%と書いていますが、80%を超えている学校もある。

夜間定時制高校
給食の存続を!

ります。廃止すれば年間約8千万円の予算が削減できるので、何とか給食を止めたいという県教育委員会の本音が透けて見えます。

食育や子どもの貧困対策の大切さを謳いながら、なぜ一方的に全校で給食を廃止しようとするのか全く理解できません。議会でも給食継続を求めて質疑を行いました。今後も強く訴え続けていきます。



市民れんらく帳

お問い合わせ

市民ネットワーク千葉県
TEL 043-201-1051

●講演会「やまゆり園事件をひもとく」

講師：阿部美樹雄さん（町田福祉園ゼネラルマネージャー）

日時：2月3日（土）14:45～16:15

会場：youホール3階

問い合わせ先：0436-21-1907（いちはらネット）

●学習会「防災ママカフェ@のだ」

講師：かもんまゆさん（社スマートサバイバープロジェクト特別講師）

日時：3月10日（土）午前中

会場：未定

参加費：500円

問い合わせ先：04-7123-6981（のだネット）